

保護者各位

松田町社会教育委員会
議長 鍵和田 貴司

「学校と地域との協働活動」アンケート調査結果について

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、10月に実施しましたアンケートについて、ご多用のところご協力くださいましてありがとうございました。社会教育委員会議でアンケートを集計・分析し、次のような結果となりましたので概要をご報告いたします。

- ◇小中学生回答者数 389人 回収率96% ◇保護者回答者数 315人 回収率62%
- ◇教職員回答者数 46人 回収率100%

*複数回答（棒グラフ）については、全回答者数に対する割合を表示しています。

1 コミュニティ・スクールについて

Q コミュニティ・スクールについて知っていますか

→「知らない」「あまり知らない」保護者は76%

Q 学校と地域との連携・協働は、子どもにとって意義あることだと思いますか

→「そう思う」「まあそう思う」保護者は96%

→「そう思う」「まあそう思う」教職員は92%

○コミュニティ・スクールについて、保護者の認知度は3割に満たない。

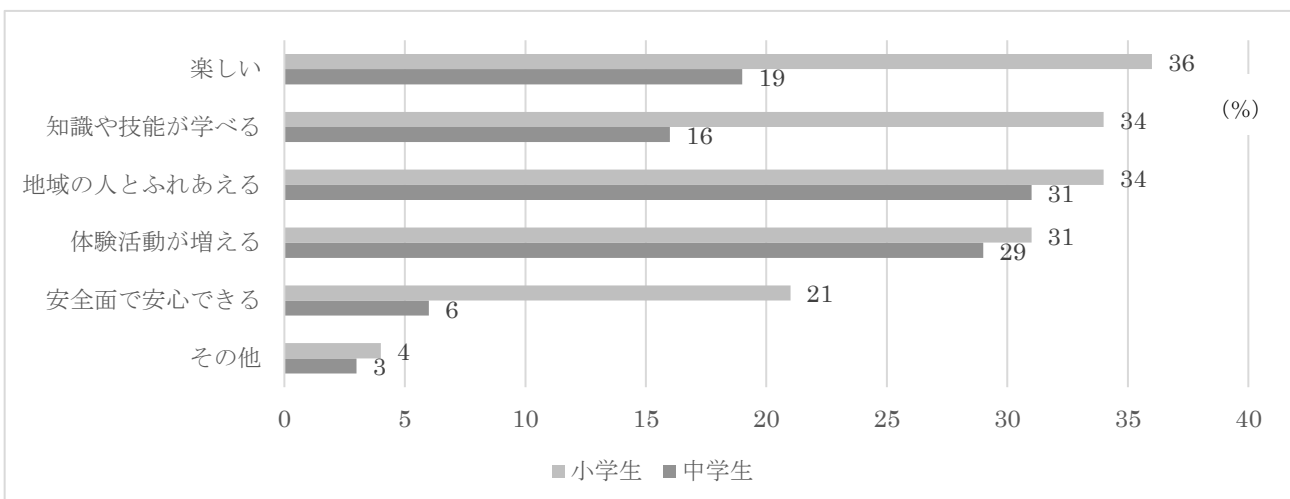
○学校と地域との連携・協働について、9割以上の保護者及び教職員が、子どもにとって意義があると思っている。

2 授業への参加について

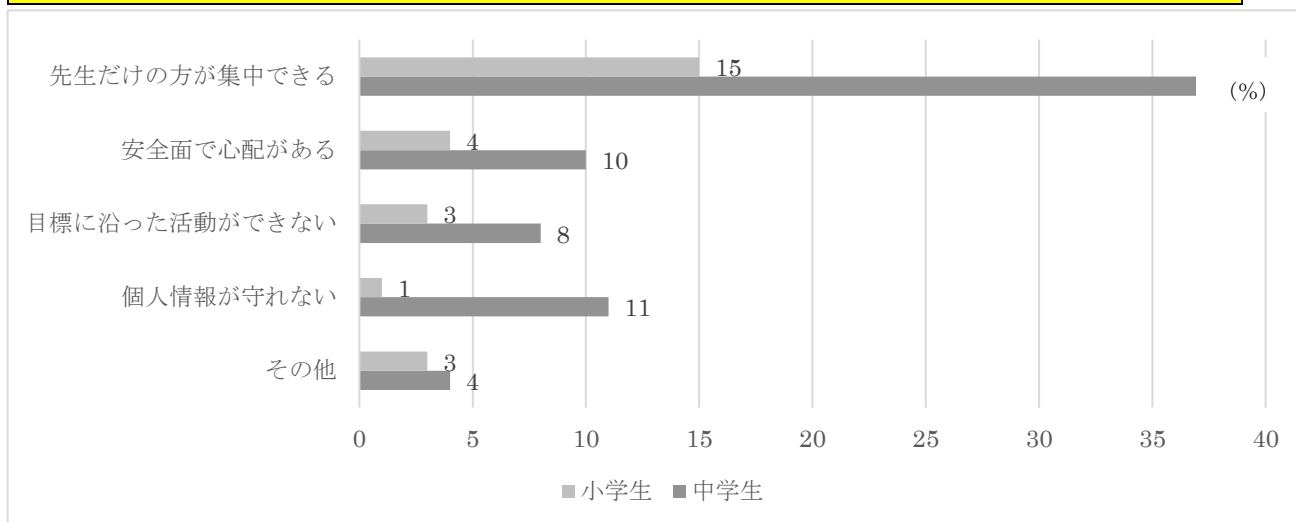
Q 授業に家庭や地域の人が入ることについてどう思いますか

→「入ってほしい」「まあ入ってほしい」小学生76%、中学生51%

Q 授業に「入ってほしい」「まあ入ってほしい」の理由を教えてください



Q 授業に「あまり入ってほしくない」「入ってほしくない」の理由を教えてください



○授業に地域の人が入ることについて、「入ってほしい」「まあ入ってほしい」が、小学生8割弱に比べ、中学生は、「入ってほしい」と「入ってほしくない」が半々に分かれている。

○小学生は、「入ってほしい」理由として、「楽しい」「知識技能が学べる」「地域の人とふれあえる」「体験活動が増える」が3割を超えている。

○中学生は、「入ってほしい」理由として、「地域の人とふれあえる」「体験活動が増える」が約3割となっている。小学生とは対照的に「安全面で安心できる」という中学生は少なく、「心配がある」と感じている中学生が1割程度いる。

○中学生は、「先生だけの方が集中できる」と感じている傾向にある。

3 学校行事・見守り等の活動への参加について

Q 学校の活動（校外学習、学校行事等）に、家庭や地域の人が入ることについてどう思いますか

→ 「入ってほしい」「まあ入ってほしい」小学生 81%、中学生 70%

Q 学校に家庭や地域の人が入り、授業等に関わることについてどう思いますか

→ 「望ましい」「まあ望ましい」保護者は小学校 81%、中学校 81%

→ 「望ましい」「まあ望ましい」教職員は小学校 97%、中学校 76%

Q 「入ってほしい」「まあ入ってほしい」と答えた理由を教えてください

→ 「楽しい」小中学生とも約4割、「地域の人とふれあえる」小学生 30%、中学生 24%
「安全面で安心できる」小学生 24%、中学生 8%

Q 「あまり入ってほしくない」「入ってほしくない」と答えた理由を教えてください

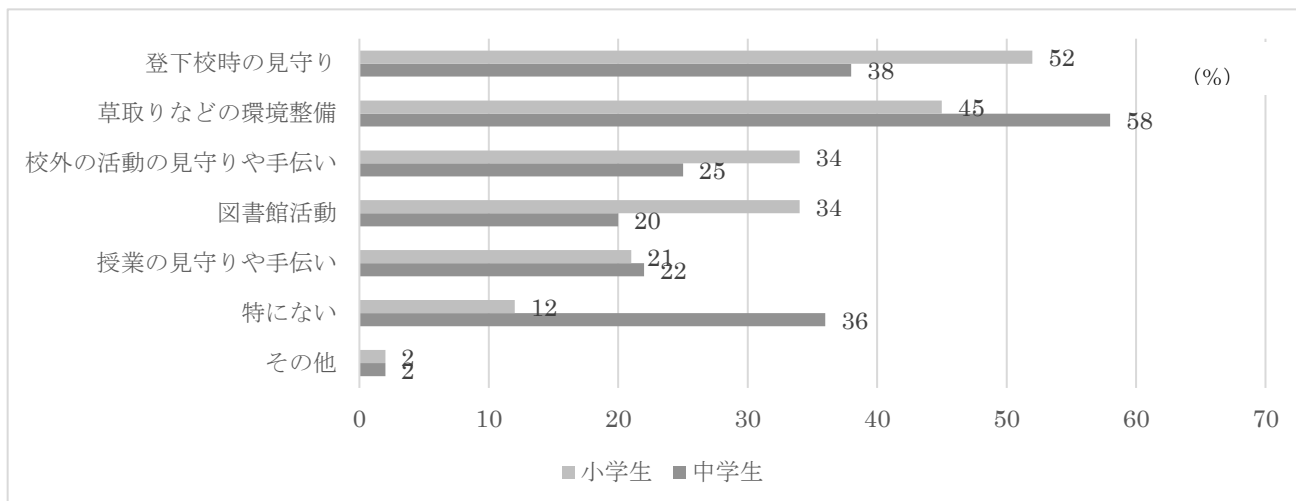
→ 「先生だけの方が集中できる」小学生 12%、中学生 15%

「目標に沿った活動ができない」小学生 6%、中学生 12%

「安全面で心配がある」小学生 3%、中学生 7%

「個人情報を守れない」小学生 3%、中学生 6%

Q 地域の人が入ってほしい活動などはありますか



- 「授業」に比べ、「行事・見守り等の活動」に入ってほしい子どもは多く、特に中学生は「授業に入ってほしい」が約5割、「行事・見守り等に入ってほしい」が約7割となっている。
- 保護者、教職員共に地域の人が入ることを「望ましい」と考えている人は約8割で、小学校の教職員は、ほとんどが「望ましい」と考えている。
- 理由として、「楽しい」としたのは、小学生は「授業」「行事・見守り等の活動」とともに約4割なのに対して、中学生は「授業」では約2割、「行事・見守り等の活動」では約4割が「楽しい」としている。他人の目（評価）が気になる発達段階となってきたことでもあるのではないかと考える。
- 登下校の見守りについては、小学生、保護者の約半数が「地域の人に入ってほしい」としており、今後も地域の方の協力を得て、安全・安心を確保できるとよいと考える。
- 草取りなどの環境整備については、中学生の約6割が希望しており、環境整備は、地域との連携を図る上で、取り掛かりやすい活動となるのではないかと考える。
- 図書ボランティアや校外学習の見守りなどは、3分の1の小学生が「地域の人に入ってほしい」と希望している。
- 教職員の「期待する活動」として、小学校では「地域学習」「ミシンの指導補助」「環境整備」等、中学校では「家庭科の実習補助」「キャリア教育」「環境整備」等が、挙げられている。

4 その他

Q あなたは学校の諸活動にボランティアとして参加してみたいと思いますか（保護者）

- 「思う」「まあ思う」小学校 52%、中学校 43%
- 参加してみたいボランティア活動として、小学校は、「校外活動の見守りや手伝い」27%、「登下校時の見守り」21%、「授業の見守りや手伝い」19%
- 中学校は、「校外活動の見守り」10%、「授業の見守りや手伝い」9%、「草取りなどの環境整備」9%

Q 家庭や地域の人、学校に関わっていると、地震や風水害などの災害時に役に立つと思いますか（保護者）

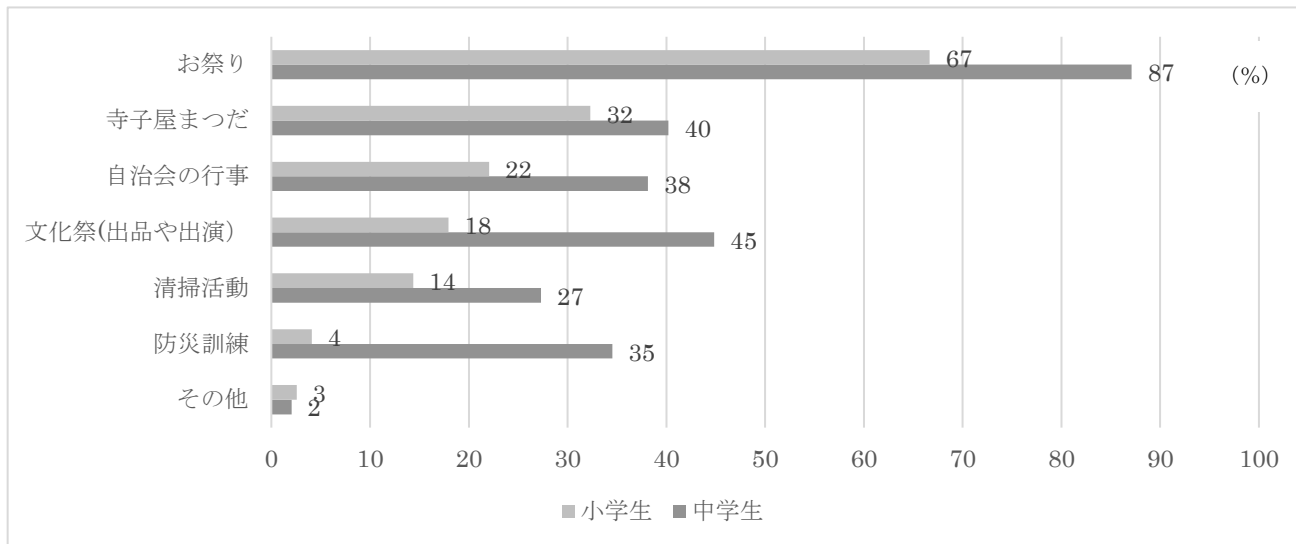
- 「思う」「まあ思う」小学校 88%、中学校 90%

Q 放課後に参加したことがある地域の活動がありますか（小学生）

→「放課後子ども教室」38%、「クラブハウスまつだ」24%、「祭りばやしや太鼓、盆踊りなどの練習」9%

Q 休日や祝日に参加したことがある地域の活動がありますか（小学生）

参加したことがある地域の活動がありますか（中学生）



○保護者は、約半数がボランティアとして参加してみたいと考えている。

○約9割の保護者が、家庭や地域の人が学校に関わっていると災害時に役に立つと考えている。

○参加したことがある地域の活動は、「お祭り」が一番多い。「寺子屋まつだ」「自治会の行事」「文化祭」「防災訓練」は、中学生の3分の1が参加しており、小学生よりも高い数値となっている。年齢の分、多くのことを経験しているためではないか。

◎家庭への通信等を活用する等で、保護者に向けたコミュニティ・スクールの周知をさらに図っていく必要がある。さらには、地域への周知を進める必要がある。

◎中学生は、授業に家庭や地域の人が入ることについて、肯定と否定が半々に分かれている。関わる際には、十分な配慮が必要と思われる。

◎それぞれの立場によって行いたい活動が違うが、学校ごとにもニーズが違うことを考慮して、どのような活動を行っていくことが学校や子どもにとってよりよい関わりであるか、十分に協議し連携しながら進めていく必要がある。

アンケートへのご協力ありがとうございました。令和7年度よりコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入となります。学校と地域が課題を共有しあい、共通の目標のもとに協働し、子どもに関わる全ての人々が「自分ごと」として、子どもの育成に関わり、知恵を出し合うことが必要となります。社会教育委員会議では、松田町の子どもたちの健やかな成長のために、引き続き現状を把握し、より良い活動や関わり・仕組み等について考えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

*アンケートの詳細内容は松田町ホームページに掲載いたします。